

特定非営利活動法人京都コミュニティ放送 第24回通常総会 議案書

開催日時:2025年2月15日(土)14:00-15:00(受付13:30-)

開催場所:天性寺

次第

1. 開会のことば
2. 理事長挨拶
3. 総会成立報告
4. 議長選出
5. 議事録署名人指名
6. 議事
第1号議案 2024年度事業報告及び活動決算の件(P1-5)
決算報告書(別紙1-1)、監査報告書(別紙1-2)
第2号議案 2025年度事業計画及び活動予算の件(P6-7)
予算書(別紙2)
第3号議案 監事の追加選任の件(P8)
7. 議長解任
8. 閉会のことば

その他資料

- ・正会員一覧表
- ・2025年度メディア掲載記録(メディアフェス)
- ・NPO組織図
- ・定款
- ・番組編成委員会、会員委員会 委員募集
- ・番組表サポーター募集
- ・意見書

***この議案書を総会当日にご持参ください**

第1号議案〈2024年度事業報告及び活動決算の件〉

◆NPO組織活動

【1】事務局報告

正会員数:102人(2024年度)※正会員一覧参照

【2】理事会・委員会開催と主な審議事項

- 理事会(計6回 3/19,5/7,7/2,9/10,11/20,1/21)
〈主な審議事項〉
 - ・新体制の決定(理事:5人、監事:1人)
 - ・営業戦略の検討
- 三役会…理事長:松岡千鶴 副理事:大垣 守弘、新屋久幸、事務局長:藤本香
 - ・事務局以外の3理事が理事長・副理事長のため理事会と統合
- 番組編成委員会(計5回 5/1,6/26,8/21,10/9,11/13)
委員長:西村遥加 委員:松岡千鶴、安森ソノ子
〈主な審議事項〉
 - ・特番「祇園祭ウォーク」と「お茶するラジオ」企画
 - ・音声アーカイブのプラットフォーム変更(WEBサイト→spotify)
 - ・「797マンスリーミュージック」サービス 企画
 - ・来年度の方針 意見出し
- 会員委員会(計1回 7/2)
委員長:太田航平 委員:藤本香
〈主な審議事項〉
 - ・会費徴収状況の確認
 - ・既存の会員制度と新たな制度の検討
- 財政委員会
今期は理事会と統合

【3】財政基盤安定に向けた取組

○短期的な今期の財政改善

2023年度体制にて決定した放送利用料値上げを1月より実施した。放送収入1.3倍の増収を図ったものの番組数は減少傾向にあり想定収入に届かなかった。祇園祭の協賛収入、講演謝金などで予算とほぼ同額の収入を維持した。理事がNPO債1口50万円を引き受け、3月に償還希望者の償還に充てることで現金補充に尽力した。

○長期的な財政基盤安定化

2024年度より理事の任期を2年とし、理事が長期スパンで法人運営に関わることで経営計画を立てやすくした。財政委員会を理事会に組み込み、毎会議に営業戦略を検討した。外部有識者との話し合いの機会を2度設け、人が集う場づくりと寄付をしてもらいやすくする為の施策を進めることとした。6月には日本非営利組織評価センター(JCNE)の「ベーシックガバナンスチェック」を行いガバナンス強化に努め、また京都信用金庫と龍谷大学ユネスソーシャルビジネスリサーチセンターによる「ソーシャル企業認証制度(S認証)」の認定を取得した。

さらに、職員がNPO経営について学び寄付呼びかけの実装を行う為、京都市市民活動総合センター(しみセン)の取り組み「市縁堂2024」に7月～3月まで参加している。しみセンのサポートの下、寄付を呼びかける動画作成や募金箱設置などに取り組んでいる。その他、今年は休日のイベント参加や講演・司会業などを請け負い、周知活動と新たな収入源の発掘に取り組んだ。

◆放送事業

【1】番組／スポットCMなどの放送

①番組数

2024年度 最終番組数:72本。内、局制作番組7本、CRAK(=3局連携)番組9本

新番組:11本

・局制作番組

- 「週刊京ことばニュース」土日 1日7回放送
- 「いち・に・の三条ラジオカフェ」毎週月曜12:00-12:30放送
- 「京都医療福祉ニュース」月-金 1日5回放送
- 「防災インフォメーション」月-金 1日4回放送
- 「環境市民のエコまちライフ」毎週月曜13:00-13:15
- 「京都発！温暖化防止」毎週木曜13:00-13:15放送
- 「校歌の時間」毎週金曜11:48-11:54放送
- 「きょうの伝統工芸の旅」毎月第1・3水曜日12:00-12:30放送

・CRAK番組(=Community Radio Alliance Kyotoの略称。ラジオミックス京都、FMまいづるとの3局連携協定)

- 「舞鶴赤れんがラジオ」
- 「拝啓おじいちゃんおばあちゃん」
- 「ぶらり京介護ラジオちゃんねる」
- 「龍大ラジオタックル」
- 「若狭高浜BLUE BEACH RADIO」
- 「カイくん・コンちゃん そうなの!?安協」
- 「MUSIC PAGE RADIO」
- 「KYOTO MIRAI TALK RADIO(単発)」

・2024年新番組※2つはCRAK番組のため上に記載

- 「ゆる〜り・ぷりずむゆ〜の森」
- 「京都三条 Radio Express」
- 「よろずや和尚のそう(僧)ゆうはなし」
- 「まどかのぼんじゅーる京都」
- 「Room Yo-Yo Pa」
- 「Nin-FEET Radio」
- 「映画京地帯」
- 「Midnight Express Kyoto」
- 「新井光一の今日も京とて 京都街Café ～ほっとひと息つく時間～」

・その他24時間ランダム放送

- 「京の音」日本語・英語バージョン(音源/環境音楽研究者・小松正史氏提供)
- 「正会員の声」

・ファイラー放送(24時間プログラム)

- ジャズを中心に放送

②スポットCM・単発番組

新規スポットCM:1本、単発番組:10本

単発番組は、これまで利用経験のあるオーナーの他、人づてやインターネット検索によってはじめて申込みに至った番組が5本あった。

・常時放送 スポットCM・24Hホットライン公共情報/スポット

- 「赤十字社キャンペーンCM」※無料放送
- 「月刊誌Leaf」※WEB広告とバーターで放送
- 京都市児童相談所「子ども虐待SOS」
- 京都いのちの電話「いのちの電話」
- 京都府警察本部少年課少年サポートセンター「ヤングテレホン」

【2】防災・災害対応

防災訓練・設備点検を偶数月に実施。災害対応(京都市内発令避難情報放送など)の該当放送はなし。

【3】放送設備の整備

送信所点検を毎月実施。DAD(自動番組放送装置)の定期点検実施。重大事故につながる事態は該当なし。UPS(無停電電源供給装置)を更新し、非常時にも電力供給できる環境の構築に務めた。

【4】インターネット放送／配信

「ListenRadio」「サイマル」からのストリーミング放送継続。Podcast配信のプラットフォームを移行(ラジオカフェWEBサイト→無料の配信サービス「spotify(スポティファイ)」10月実施)。これにより、spotify, podcast、amazon musicからも聴取可能となった。

Podcast配信(オプションサービス)利用番組:26本

Podcast+Youtube動画配信利用番組:9本

【5】広報活動

- ・京都市「まちづくり・お宝バンク」イベントブース出展(6月)
- ・京都ランドリーカフェにて話題提供(6月)
- ・kyoto wood exhibition 2024ブース出展(10月)
- ・三条通で遊んでみよし ブース出展(11月)
- ・番組表「ラジオカフェ通信」発行(1-3月号: 1500部、4-9月号:2500部、10-3月号: 2500部)
- ・「祇園祭ウォーク2024」リーフレット発行 2,000部
- ・CRAK3局合同放送「MUSIC PAGE RADIO」のビジュアル作成
- ・Webサイト、ソーシャルメディア(X、Facebook、Instagram)にて随時情報発信

【6】特番行事等

- ・祇園祭特番「祇園祭ウォーク」放送(7月)
 - ・…開局当初より放送しており、毎年各山鉾町等に焦点をあてた密着取材を行っている。今年は「四条傘鉾」特集。踊りとお囃子が特徴の鉾であり、踊りを担う小学生・それを支える大人の方々など様々な声をお届けした。パーソナリティには、5人の大学生(京都府 学生×地域つながる未来プロジェクト)が関わった。また、18の団体・個人の協賛があった。
 - ・特番「お茶するラジオ」放送(12月)
- 6組の番組オーナーによる特番放送の他、ラジオカフェ来局者・リスナーから募集したリクエスト曲の放送を行った。

【7】教育事業

- ・京都芸術大学から2人のインターン受け入れ(3月、10月)
- ・京都教育大附属小中学校 職業体験(2月)
- ・京都府委託事業 学生支援事業「就職トライアル」から3人の学生受け入れ(2-3月)
- ・上京中学校職業体験(6月)
- ・京都府 学生×地域つながる未来プロジェクトにて5人の学生受け入れ(6月～3月)
- ・京都ノートルダム女子大学 局紹介、番組制作支援(11月)

【8】講演活動等

- ・SDGsの取組調査インタビュー(1月)
- ・NPOカタリバ「カタリバ大学」登壇(4月)
- ・音楽フェス 京都爛漫会 トークイベント司会(6月)
- ・東京学芸大学附属国際中等教育学校「ソーシャルアクション概論」ゲスト講義(7月)
- ・龍谷大学院 松浦さと子ゼミ ゲスト講義(7月)
- ・龍谷大学メディア論講義ゲスト講義(7月)
- ・NHKラジオ「まんまる」 電話出演(9月)
- ・市民メディア全国交流集会 登壇(11月)
- ・近代建築WEEKシンポジウム司会(12月)
- ・NPOパートナーシップミーティング講演(12月)

【9】番組審議会

6回(第160回～第166回)開催

審議番組

「津田藤宏の Bass&Music Labo」「KYOTO SOCIAL WAVE」「ゴスペルの力」「ゆる～り・ぶりずむゆ～の森」「ミッドナイト Mimi ～ 明日へのヒント」「Nin-FEET Radio」

※「KYOTO SOCIAL WAVE」を除いてすべての番組が番組オーナー制作の番組

【10】その他

新しい放送枠「797マンスリーミュージック」開始(11月)

…番組やCMと異なり、5分の放送枠で1ヶ月間(計12回)、同じ内容の放送を繰り返す。音楽をメインに、パーソナリティは1分程のトークをお届けする。曲への思いやイベント情報の告知などが可能。11月～12月でのべ3組が放送。劇団や自作曲をお持ちの方からの申込みがあった。

【経常収支の部】			
◎収入			
	経常収入	:	20,330,023
	事業収入	:	18,811,465
	会費収入	:	1,257,200
	寄付金収入	:	41,748
	雑収入	:	219,408
	受取利息収入	:	202
◎支出			
	経常支出	:	19,453,286
	・事業費		
	人件費	:	8,330,840
	その他経費	:	8,004,767
	・管理費		3,117,679
	内、減価償却費	:	209,361
	◎当期収支差額	:	876,737
【資産の部】			
	合計資産額	:	6,640,673
	現金預金	:	2,170,397
	その他流動資産	:	2,357,360
	有形固定資産	:	478,096
	無形固定資産・他資産	:	1,634,820
【負債の部】			
	合計負債額	:	13,577,470
	流動負債	:	577,470
	固定負債	:	13,000,000
	(長期借入金 (NPO債) 発行総額: 13,000,000円)		
【正味財産の部】			
	正味財産の部合計	:	-6,936,797

第2号議案〈2025年度事業計画及び活動予算の件〉

【事業計画案】

- ・放送外収入の拡大
- ・財務状況の改善
- ・広報活動の強化

2024年度は財政改善を主眼に置き運営を進めてきた。当初計画では番組増加による収入増を見込んでいたが、今期、そしてこの数年の動向から、局の企画への協賛による財源確保にも力を入れることが望ましいと考える。また、今期は講演・司会謝金が予算を超えて獲得できた。関係性の中で得た機会である為、2025年度も引き続き地域との交流を通して関係性を広げ、深めていきたい。同時に、限られた職員での運営は休日出勤・時間外労働の補填も重点課題であり、ガバナンスの徹底に努めたい。

安定的な運営には現金300万円程度が必要と考えるが現状は150万円程度である。収益をさらに改善する必要がある。長期借入金(NPO債)については、特別な返済希望がない限り現状維持としたいと考える。

【1】番組／スポットCMなどの放送

①番組放送

- ・地域活動・社会活動に取り組むゲストとのつながり強化
局制作番組「いち・に・の三条ラジオカフェ(毎週月曜12:00-12:30動画あり)」
きょうとNPOセンター協働番組「KYOTO SOCIAL WAVE(毎週金曜15:00-15:30)」
- ・オーナー番組
番組オーナー等関係者の交流機会による、既存番組オーナーの継続・内容充実
- ・CRAK番組(=Community Radio Alliance Kyotoの略称。ラジオミックス京都、FMまいづるとの3局連携協定)
放送の継続と充実化を図る
- ・その他24時間ランダム放送
「京の音」放送継続
- ・ファイラー放送(24時間プログラム)ジャズを中心に放送
ジャズプレイリストの更新を定期的に行い、リスナーを飽きさせない編成作成

②CM放送

- ・スポットCM・24Hホットライン公共情報／スポット 放送継続

【2】防災・災害対応

- ・防災訓練・設備点検の偶数月開催 継続
- ・災害時のアナウンス訓練を行い、災害時のスタッフ対応強化

【3】放送設備の整備

- ・送信所の定期点検 継続
- ・DAD(自動番組放送装置)の定期点検 継続
- ・Windows11に対応したPC整備
- ・通常収録、現場中継等のミキサー研修実施・ミキサースタッフの技術向上

【4】インターネット放送／配信

- ・「ListenRadio」「サイマル」の配信継続
- ・Spotify活用によるpodcast番組のリスナー可視化と聴取率向上のための分析

【5】広報活動

- ・「ラジオカフェ通信」の継続配布
- ・Webサイト、ソーシャルメディア(X、Facebook、Instagram)による情報発信継続
- ・自主制作ビジュアル素材による番組宣伝・広報事業 継続
- ・地域イベントへの参加

【6】特番行事等

- ・「祇園祭ウォーク」の中継技術向上と協賛・協働発信者の増加

【7】教育事業

- ・職業体験、インターンの受け入れ 発展的に継続
- ・学生の発信機会創出

【8】講演活動等

- ・学校やイベントでの講演 機会の創出
- ・講演活動の広報強化

【9】番組審議会

- ・隔月定期開催 継続。委員の多様性を高める

【10】その他

- ・番組表サポーターの募集による収入増加

【事業予算案】

1. 予算の概要

(1)収入の増減

- ・番組事業収入の維持
- ・番組表サポーター、寄付の増加

(2)支出の増減

- ・人件費:職員給与の定期昇給(正職員1人)
- ・事務用品費:windows11更新

2. 長期借入の詳細

■固定資産及び減価償却費

UPS更新により減価償却費が増加

■長期借入金(NPO債)(発行限度額2,200万円)

債権者:17人 口数:26口 金額:1300万円 利率:1.5%→0.5%(2024年より順次引き下げのお願い)

第3号議案 〈監事の追加選任の件〉

現監事の土江田雅史氏は2024年の総会にて2年任期で選任(重任)されており、当法人の決算作成業務を土江田会計事務所に依頼している。利益相反を無くし、監事の第三者性を高めるために、本総会において監事の追加選任を審議したい。候補者は次の通りである。尚、当該監事候補については、あらかじめ監事の同意・理事の選出を経ている。

監事も含めた現理事の役員は2024-2025年の2年任期であるが、当該監事の在任期間は他理事と合わせて2025年度の1年とする。

監事候補に関する事項

氏名	上田敦
職業	弁護士
所属団体	所属事務所) 上田・小川法律事務所 所属団体) 京都弁護士会、日本弁護士連合会、 京都ウイングワイズメンズクラブ
ラジオカフェとの 関わりや思い	<p>・正会員入会:2007年</p> <p>・きっかけ 京都弁護士会広報委員会が制作するラジオ番組「弁護士の実像と虚像」のパーソナリティーとして出演させていただいたのがきっかけです。 この番組は2005年から2013年までの約8年間に渡って放送されました。番組が終了した後も、個人的に番組を持たせていただいたり、他番組へのゲスト出演などをさせていただきました。</p> <p>私たちの世代にとって「ラジオ」は、世の中には様々な世界があることを教えてくれたとても大切なメディアでした。 時間や空間を飛び越えるインターネットがメディアの主流となった今、ラジオは時間や空間(電波)に限定される「不自由なメディア」ですが、その不自由さこそが、逆に新たな発想や想像力を刺激してくれると思っています。</p>

監事に関する定款は以下の通りである:

定款第9条「理事および監事は総会において選出される。」

第10条「任期途中で欠けた場合は、理事会で補充する。ただし任期は残任期間とし、次の通常総会で承認を得るものとする。」